

県議会議員 大川ただお 議会報告



2月定例県議会 審議内容

1月24日開会の2月定例県議会に新年度当初予算案や本年度の2月補正予算案、職員削減のための県職員定数条例の改正案など計**74議案が審議**されます。

24年度補正予算案 85億円を減額補正

本年度の一般会計から85億7,300万円を減額する2月補正予算案が審議されます。補正後の最終予算額は前年度比4.6%減の**1兆6,110億6,200万円**となります。

国の「経済危機対応・地域活性化予備費」を利用し、次年度に予定していた特別支援学校の整備事業費などを前倒し計上。一方で、退職手当制度の見直しにより人件費を抑制、各種事業の対象減や新年度への先送りでも減額補正を審議します。

年間収支は、法人税や軽油引取税の税収がアップしたのに加え、人件費抑制で財源を確保。当初154億円を計上していた退職手当債を発行しなくても収支均衡の見通しが立ちました。

13年度当初予算案

この、2月議会において総額1兆4,767億5,800万円の2013年度一般会計当初予算案が審議されます。

3月17日に知事選を控えた「骨格予算」のため、前年度当初比で7.7%減となります。子育てや雇用創出、基盤整備などの継続事業や、東日本大震災からの復興関連予算を中心に盛り込んだ内容です。

今後、新知事が決まった後の6月補正予算で肉付けする予定です。ただ、県税収入が減少する一方、社会保障費や公債費は増加の一途をたどっており、県の財政状況は厳しさを増しています。

審議される主な事業について

1 安全・安心

平成25年4月に完成する、AEDを搭載した移動交番車50台、専従警察官100人、移動交番相談員50人体制により、犯罪に対する抑止力を強化し、地域住民の安全・安心を確保。

振り込め詐欺・悪質商法被害抑止コールセンター事業を引き続き実施するとともに、ひたたくり犯罪を防止するため、市町村の防犯カメラ設置に対する助成。

平成27年度までの完了を目指し、県立学校の耐震化を進めるとともに、私立学校の耐震化に対して助成。

2 医療・福祉・健康

地域医療再生臨時特例基金を活用し、在宅医療の推進拠点となる地域医療総合支援センターや救命救急センター等の整備に対して助成。また、香取・海匠地域については、旭中央病院内の地域医療支援センターの運営支援や地域連携病院の機器整備への助成、さらに、山武・長生・夷隅地域については、中核病院として整備されている東千葉メディカルセンターへの助成を行うなど、地域の医療再生を促進。

日本人の死因の第1位である、がんへの対策については、千葉県がんセンターに、患者や家族からの幅広い相談にワンストップで対応する相談体制を確保するとともに、がん診療連携拠点病院の放射線治療機能の強化を継続。

高齢者等の認知症対策として、中核病院である認知症患者医療センターにおいて、専門的な医療相談や医療関係者への研修を行い、医療水準の向上を図るとともに、認知症コールセンターにおいて、患者や家族への支援を継続して実施。

障害者の自立を促進するため、引き続き障害者就業・生活支援センターにおいて、生活面と就業面等を一体的に支援するとともに、障害者の賃金水準の向上を図るため、商品の販路拡大などへの支援を実施。

3 国際・文化・環境

本県の国際交流を促進するため、姉妹州である米国ウイ

スコンシン州や友好関係にあるドイツのデュッセルドルフ市との各種交流事業を引き続き実施するとともに、高校生の海外留学などに助成し、国際的に活躍できるグローバル人材を育成。

県民の千葉を愛する心をはぐくむため、「県民の日」事業を実施するとともに、本県スポーツの振興を図るため、国体選手やジュニア選手の育成・強化。

野生鳥獣による農業被害の防止を図るため、捕獲従事者の確保・育成を図るほか、市町村などが実施する捕獲事業や防護柵の設置等に対して助成。

4 子ども

子ども医療費助成については、入院は中学校3年生（平成24年12月から拡大）まで、通院は小学校3年生まで助成を行い、子どもの受ける医療の充実と保護者の経済的負担の軽減を図ります。

学校におけるいじめや不登校などの早期解決を図るため、生徒のカウンセリングや保護者への助言を行うスクールカウンセラーの配置や、スクール・サポーターの派遣を引き続き実施。

特別支援学校の児童生徒の増加に伴う過密化・教室不足に対応するため、高等学校の空き校舎などを活用し、特別支援学校の分校・分教室等を整備。

5 雇用・産業・基盤整備

依然として厳しい雇用情勢に対応するため「ジョブカフェちば」において若者に対し、「千葉県ジョブサポートセンター」において中高齢者や子育て中の女性に対して、それぞれ就労支援に取り組むとともに、離職者の再就職を支援。

本県観光地の魅力向上のため、観光地のトイレ改修などに助成するとともに、市町村が千葉県道路公社所管の有料道路の無料往復通行券を観光プロモーションで活用する事業やサイクルツーリズムの拡大・定着を図る取組みに助成。

園芸農業の生産力の強化拡大を図るため、「輝け！ちばの園芸」産地整備支援事業として、パイプハウス等の施設整備に対して助成するとともに、荒廃した農地を再生し露地野菜や飼料作物を栽培するなど、耕作放棄地の解消に取り組む農家を支援。

東京湾アクアライン料金引き下げ社会実験を引き続き実施するとともに、経営の安定化や利用促進を図るため、東葉高速鉄道、北総鉄道、いすみ鉄道に対する支援。

6 東日本大震災への対応

災害救助法に基づく応急仮設住宅の入居期間と、被災者住宅再建支援金事業の申請期間を、それぞれ1年間延長するなど、被災者への支援を継続。

放射性物質対策として、空間、河川等での測定や、農林水産物の検査などのモニタリング体制を継続するほか、引き続きシタケなどの出荷制限の早期解除に向けての取り組み。

液状化により甚大な被害が出た香取市佐原地区の県機関の庁舎を老朽化の著しい庁舎と併せて合同庁舎化し、市の施設との隣接などにより県民の利便性の向上を図ります。



予算規模 1兆4,767億58百万円（対前年度当初比7.7減）

【歳出内訳】

1 義務的な経費

(1) ・人件費	5,817億21百万円
・知事部局	701億 6百万円
・教育庁	3,923億 6百万円
（うち小中学校教職員 2,710億45百万円）	
・警察本部	1,193億9百万円
(2) 社会保障費	2,207億56百万円
(3) 公債費	1,864億35百万円
(4) 税関係交付金等	1,507億20百万円
小計	1兆1,396億32百万円

2 行政の継続性の観点から県民生活に必要な事業

(1) 安全・安心	182億76百万円
(2) 医療・福祉・健康	274億58百万円
(3) 国際・文化・環境	35億47百万円
(4) 子ども	292億66百万円
(5) 雇用・産業・基盤設備	2,465億28百万円
(6) 東日本大震災への対応	120億51百万円
小計	3,371億26百万円

【歳入内訳】

県税	6,277億19百万円
地方譲与税	702億25百万円
地方交付税	1,510億円
国庫支出額	1,467億30百万円
県債	2,286億56百万円
（うち臨時財政対策債1,710億円）	
繰入金	241億47百万円
（うち財政調査基金繰入金 32億円）	
（うち災害復興・地域再生基金繰入金38億24百万円）	
諸収入等	2,282億81百万円

2月議会は、25年1月24日より開会。2月4日に本会議にて質問致します。傍聴ご希望の方はご連絡ください。また、2月8・12・13日の予算委員会（テレビ放映）でも質問いたします。、地域や皆様から、県へのご意見ご要望ございましたらお寄せ下さいますようお願い致します。

県議会議員 大川忠夫 後援会事務所

〒262-0018

内部資料

花見川区 畑町 599-17

TEL 043-272-3888

FAX 043-272-3889

<http://www.ookawatadao.com>

E-mail: ookawajimusyo@car.ocn.ne.jp